

日本は、又世界に定まらぬ月日なるだらう。人の世を仕合せにするものも、皆お互人間の心の持ち方一つだと思つた。市民の心がここにあり

森島りは聞かなかつたが、五味島では、士市に実現するであらう。それを想像して涙ぐましさを感じる。(社会教育課)

横に水平に上げた腕をおろした場合、は身体に平行する交通は進め、その他の交通は止れ。

1 自動車の直前直後横断
2 路上遊戯(ローリースケート、キヤッチボール)
3 女男の狭い歩道
4 斜め横断
5 自動車の無灯火二人乗

「とすべく努力しておりますので、向一の御支援をお願いいたします。」

富士市平垣279番地
富士市役所
所長 藤田 加藤
副所長 加藤 藤田
印刷所 加藤 藤田

富士市報

(1)
第 5 号
昭和30年12月22日発行

年末に當つて

昭和三十年も旬日の中に終りとなり、今年も豪雨による災害はありましたが、起きた台風も殆んど当市には被害がなく、近年にない豊作を迎えられたことは喜びに耐えません。これに引かえ経済状況はデフレ政策の下に実に苦難の年でありました。そのため市の財政にも影響を及ぼし、諸事業の遂行も思うに任せず、実に苦しい一年でございました。

御承知の如く十月十三日は市役所も旧中学校跡に移転し、新庁舎で事務能率の向上と共に体力を養つて、より良く明るい役所にしたいと職員一同大いに張り切つて居ます。この上共市政の円滑な運営のために御協力下さるよう御願します。

根田水源第一号井竣工

〔写真は富士市役所庁舎〕



富士市上水道の水源である、根田水源第一号井の竣工式は、本年七月一日着手工事順調に工を進め、去る十一月三十日竣工した。この第一号井は、二号井(未工)とともに四万市民に給水しようとするものである。昼夜二日間に亘る連続揚水試験の結果は、一昼夜二万三千五百石の揚水に成功したことは、上水道設計面の根拠である水源が確立したことであつて、誠に慶びにたえない所である。明年三十一年度は政府融資の獲得に努め、全市給水の早期完成を期せんとするものである。

国勢調査集計結果

去る十月一日行われた、昭和三十年国勢調査の結果を鋭意集計中でありました。十一月二十五日最終集計が完了いたしました。

集計結果をみますと、昭和二十五年国勢調査人口三、八、六、八、九(旧三町村分)と昭和三十年調査では四、一、三、二、一(五年間)となり、六、四、二、一の増となつております。男女別人口では昭和二十五年調査では女が三七七人増であつたのが昭和三十年調査では僅かに一四一人増と、女子人口は依然として男子人口に比して増となつております。

就業状況では製造業(工業)に従事する者六、〇八八人で就業人口に對して三七%を占めて第一位となり、第二位が農業従事者四、二一六(二五・六%)、第三位卸売及び小売業(商業)四、二一六(二五・六%)の順になつております。

- 1. 総世帯数 7,595世帯
- 2. 人口 41,331人
- 男女別 男 20,595人 女 20,736人

男女別	人口	15歳以上の人口	積極的に仕事を探している人	仕事を探している人	仕事をしていない人	備考
男	20,595	13,879	185	2,528	11,166	仕事の出ない人、学生、老人、家事のみに従事する人である
女	20,736	14,417	63	9,096	5,258	
計	41,331	28,296	248	11,624	16,424	
		100%	0.9%	41.0%	58.1%	

就業者	農 業	漁 業	水産業	鉱 業	建設業	製造業	卸売及び小売業	金融及び保険業	不動産業	運輸通信業	公益事業	公務
男	11,166	2,232	12	46	659	4,828	1,215	99	23	965	779	308
女	5,258	1,984	1	4	28	1,240	970	68	2	143	753	65
計	16,424	4,216	13	50	687	6,068	2,185	167	25	1,108	1,532	373
比	100%	25.6%	0.1%	0.3%	4.2%	37%	13.3%	1.0%	0.2%	6.7%	9.3%	2.3%

世帯数	人口	世帯内訳		住居内訳						
		普通世帯	準世帯	住宅	住持	住宅内借	間借	給与住宅	寄居	その他
7,595	41,331	7,473	122	7,529	4,887	1,241	351	1,050	18	48
41,331	40,844	487	40,893	29,779	5,309	1,005	4,800	159	279	
			144,279	110,228	15,062	2,805	16,184			
			3.52畳	3.70畳	2.83畳	2.79畳	3.37畳			

普選三十周年 婦選十周年 に際して

今年日本に普通選挙が布かれて三十周年、婦人が参政権を獲得してから十周年に当ります。政府は十一月十五日、天皇・皇后両陛下の御臨場を仰いで、記念式典を催しましたし、民間でも、各地で記念の行事が挙行されてい

あります。その運動も長い間行われましたが、遂に実現に至らなかつたのが、終戦直後一気選挙権の年令引下げと共に、男子と同じ条件で婦人の選挙権も認められたのであります。ですから日本の有権者の数は

最初(明治二十二年)約 四五万人
普選が実施されて(大正十四年) 約一、二四〇万人
婦選が実施されて(昭和二十年) 約三、七〇〇万人
というように著しい増加を見たのであります。選挙権が与えられたということは、参政

権が与えられたということに、今年普選三十周年、婦選十周年を迎えるに当りまして、吾々国民は大いに反省し、大いに考へて、吾々の権利でもあり義務でもある所の選挙を、棄権したり又情実にとらわれたり、人の言葉に動かされたりすることなく、自己の信念によつて立派な選挙を行うようにしなければならぬと思つてあります。

富士市選挙管理委員会 富士市公明選挙推進連盟

普選や婦選が実施されても、有権者が墮落するならば、寧ろ普選も婦選も実施されない方が却つて国民は幸福になるかもしれません。

公明選挙!!
公明選挙!!